

常任委員会だより

総務常任委員会

井内 建治 委員長

消防第一分団建てかえ

設計委託料百万円計上

本委員会は、今期定例会に付託された一般会計補正予算（三億六千万円）、水道事業会計補正

予算、水防協議会条例の一部改正、消防団員の公務災害補償に関する条例の一部改正、納税組合の報獎金制度を平成二十年四月一日から全廃する条例、長期契約を締結することができると定める条例、計六件の議案を審査した。

その結果、全議案を原案どおり可決すべきものと決した。

（なぜ分団詰所を建てかえるのか）

松島町、地藏寺境内に設置されている消防第一分団詰所（昭和三十六年建設・約四十平方メートル）の老朽化に伴い、東南海・南海地震対策事業として防災基盤整備事業を活用し、平成十九年度竣工に向け、本年度に第一分団詰所新築工事設計委託業務として設計に取

りかかるものである。川南地区の消防防災の中核として活動している

分団員の活動支援と地域の消防防災の拠点施設として、鉄骨二階建（一階車庫四十平方メートル、二階詰所四十平方メートル）を堀川町に新築・移転し、消防分団詰所の整備を図る。

文教厚生常任委員会

出口 憲二郎 委員長

今期定例会に付託された一般会計補正予算、老人保健医療事業特別会計補正予算、介護保険特別会計補正予算、市役所支所設置条例の一部を改正する条例、事務手数料の一部を改正する条例、徳島県後期高齢者医療広域連合の設立、以上計六件の議案について審査した。

付手数料の規定に、磁気ディスクを加える。○高齢者の医療の確保に関する医療事務を行うため、徳島県内全ての市町村で広域連合を組織する。

○坂野支所、立江支所をそれぞれ坂野出張所、立江出張所と改め、委託・嘱託職員で運営する。○戸籍の謄本・抄本の交



産業建設常任委員会

宮崎 欽司 委員長

和田島公営住宅

第十四号棟新築工事

今期定例会において付託された平成十八年度小松島市一般会計予算、農林水産業費、商工費、土木費、平成十八年度小松島市競輪事業特別会計補正予算、那賀川北岸地域湛水防除施設組合規約の変更について、工事請負契約の締結について、市道の路線の認定について、新たに生じた土地の確認及び字の区域の設定について、工事請負契約の工期の結果、原案のとおり可決すべきものと決した。

変更について
小松島市公共下水道事業勢合雨水ポンプ場建設工事
小松島市田野町字赤石南地内
変更工期 平成十八年三月二十八日から平成十九年三月三十日。

○和田島公営住宅第十四号棟新築工事
一億六千四百三十二万五千円。
○工事請負契約の工期の



市政Q&A

11人が質問

一般質問項目

木村 文彦 議員

- 1 し尿委託業者に対する和田島団地等の住民からの公開質問状と契約について
- 2 保育所及び幼稚園の統廃合についてと子育て支援について

佐野 善作 議員

- 1 財政再建と行政改革の検証と今後の見通しについて
- 2 河川改修及び樋門改築の見通しについて

大木 進 議員

- 1 医療と介護の合算制度について
- 2 後期高齢者医療について
- 3 ガードパイプの設置について

武田 清 議員

- 1 市道・田浦3号線（田浦町子安保育所前）道路の拡幅について
- 2 防災対策について
- 3 環境衛生センターで回収した一般廃棄物などの処理について

宝 覚 議員

- 1 幼稚園・小学校の再編について
- 2 国保、後期高齢者医療保険について
- 3 津波、地震対策について

米崎 孝 議員

- 1 日本製紙の用排水路について
- 2 「いじめ」の問題について
- 3 保育所民営化の進捗状況について

立川 邦男 議員

- 1 市道拡幅対策について
- 2 整備放置地主対策について
- 3 起債残額の現状について

天羽 篤 議員

- 1 議案第93号 支所設置条例を改正する条例について（質疑）
- 2 競輪局の不祥事について
- 3 保育所の民営化について
- 4 学校でのいじめ問題について
- 5 大型店の進出について

宮崎 欽司 議員

- 1 今後も更に強行な行財政改革に取り組むべきでないか
- 2 江田・堤防決壊を招く生い茂った柳の木の撤去を
- 3 消してある二・三条通りの街灯に照明を

高木 幸次 議員

- 1 坂野中学校の立て替え計画と坂野小・中学校のプール建設について
- 2 同和対策小集落事業について

出口憲二郎 議員

- 1 市営火葬場について
- 2 本市の公共下水道事業について

し尿委託業務の過払い分について返還された分以外に、不適切な点はないのか

翔政クラブ 木村 文彦 議員

答 不適切な点はあったが、今後は精査をする中で契約を結んでいきたい



夕張市のように財政再建団体にならないか

みらいの会 佐野 善作 議員

答 集中改革プランを確実に実行できるように全力で取り組む



木村 本年六月に明らかになった一連のし尿委託業者による実体のない業務料請求事件は、九月議会には水質分析の不自然な支出が判明し、この間、同業者が小松島市と結んでいる委託契約書を精査する中で新たに不自然な点が見つかり、小松島市は二つのし尿許可業者があるが、一方には諸経費という契約があるのに対し、一方の許可業者には見られない。平成十三年に市宮坂野町太郎丸団地及び新相久団地の計八合併浄化槽施設にて契約されている諸経費とは、どういう趣旨の業務なのか。

産業建設部参事 先日同委託業者に確認したところ、オイル等グリーンズ代だと言うことである。

木村 たしか、オイルなどの経費は保守点検費に含まれると浄化槽法の中にも明記されているが、一方の許可業者との契約を結んでいる中郷町の公営加藤西団地は先ほどの団地と類似するが、なぜ

一方の団地には諸経費が契約されていないのか。また、二重契約ともたらねかねない保守点検費と諸経費の違いは何なのか。

産業建設部参事 保守点検については施設自身が正常に運用するため、もろもろの人件費を含めて作業するものである。諸経費については、グリーンズ等、エレメントに関係する消耗品である。

木村 もろもろとは何であるか。私を含め市民の方々が理解できる答弁を。

産業建設部長 従来からも見積もりを精査せずに、毎年のことであり、その分が見積書として受け取っていたので、不適切な事務処理があったということである。

木村 市長に聞きたい。これまで市はチェック体制の不備を繰り返してきた。問題の許可業者は数年間に及ぶ数カ所の実体的ない業務料の請求を続けてきたが、



市宮坂野町太郎丸団地

それらを知りえて市との委託契約を結んだのか。この契約での悪意は、あったと考えるのか否か。

市長 一連の事件等々については、木村議員の御指摘でもって事実が明らかになり、契約内容も職員が十二分に精査していなかった。精査していれば、このようなことは起こらなかった。ただ、木村議員が言われるように問題の業者が悪意でそのような契約をしたかどうかは、市も判断しかねる。

佐野 財政再建の検証と今後の見通しはどのようなものか。

総務部長 平成十八年度決算見込みについては、単年度収支赤字が七億円、実質収支赤字が十億五千万円程度に達する見通しである。

財政再建団体への転落を回避するには、平成十九年度当初予算編成において単年度赤字を想定しないことが絶対条件である。極めて深刻な状況にある。

佐野 行政改革の成果はあったのか。

総務部長 民間委託の推進では、市内三中学校の給食調理業務を民間委託している。小松島保育所と新開保育所の民間委託を計画に沿って取り組んでいる。

組織機構の見直しでは、収入役と企業管理者を置かないこととし、環境衛生部を廃止、市長部局を四部制から三部制に改め、係の数を縮小して、担当制を拡大した。

定員管理の適正化では平成十八年四月一日現在の職員数を昨年度に比べて二十八人削減、平成十九年四月の職員数を十人程度削減する予定である。集中改革プランの初年度（平成十七年度）の財政効果額は、四億一千五百万円である。

河川改修と樋門改築の見通しは

佐野 田野川、天王谷川、恩山寺谷川、政所谷川の改修工事の進捗状況と見通しはどうか。

産業建設部長 田野川二千六百十メートル、天王谷川千六百六十メートル、恩山寺谷川三百六十メートルが完成している。恩山寺谷川では旧河川の下流部にシヨートカットが暫定で完成し、山間部の洪水処理ができた。政

所谷川では用地の確保ができていないので早期に問題解決し、用地取得も含む工事着手ができるようにしたい。

佐野 勢合樋門の計画進行について尋ねる。

産業建設部長 用地取得が平成十四年度に完了している。予算の重点化等により一時休止している。工事着手ができるよう港湾部との調整を進めているところである。



勢合樋門

医療と介護の合算制度とは

公明党 大木 進 議員

答 自己負担が高額となる対応として負担を軽減する制度

大木 医療保険と介護保険で、それぞれ自己負担

限度額が定められている。著しく高額になる場合の制度改革として、平成二十年四月より高額医療と高額介護の合算制度実現が図られると聞いているが、合算制度の内容について伺いたい。

市民環境部長

医療制度改革関連法の中で、自己負担の合算額が著しく高額となる対応として、平成二十年四月より、被保険者の申請に基づき、負担を軽減する制度で、対象は世帯単位で、一般所得で



後期高齢者医療保険では

五十六万円、七十歳未満の場合六十七万円となっている。費用負担は負担額の比率に応じてである。

後期高齢者

医療制度について

大木 七十五歳以上の後

非常食と災害用備蓄品の保管場所の複数化への取り組みは

前進クラブ 武田 清 議員

答 和田島緑地の倉庫を来年度から市内二つ目の備蓄倉庫として活用



武田 平成十五年九月議

会で『非常食などの備蓄場所が市内でミリカホール一カ所では不安である』との質問に対し、「和田島緑地に備蓄倉庫兼管理棟を建設予定であり、完成すれば活用する」との答弁であったが、その後どうなったのか。

政策監

管理棟建設後は、

喪失等の事務である。保険料は、平均的所得がある一人当たりで月額六千二百円で、最も少ない方で月額九百円である。

ガードパイプの設置について

大木 金磯一号線の、芝

生川の水越橋より東の場所、住宅増で幼児も増え、危険度が増大している。ガードパイプの設置を熱望しているが、可能かどうか伺いたい。

産業建設部長

芝生川は県管理の二級河川で、以前にも金磯地区の方から危険なためガードパイプ設置の要望があり、県担

武田 災害時に備え、地

下水、ポンプの提供を呼びかけているが、何台の契約を結んだか。



芝生川（水越橋）より

ポンプを動かす発電機は確保できているのか。

政策監

八十台提携している。八十台のうち、六十二台分の発電機が必要

